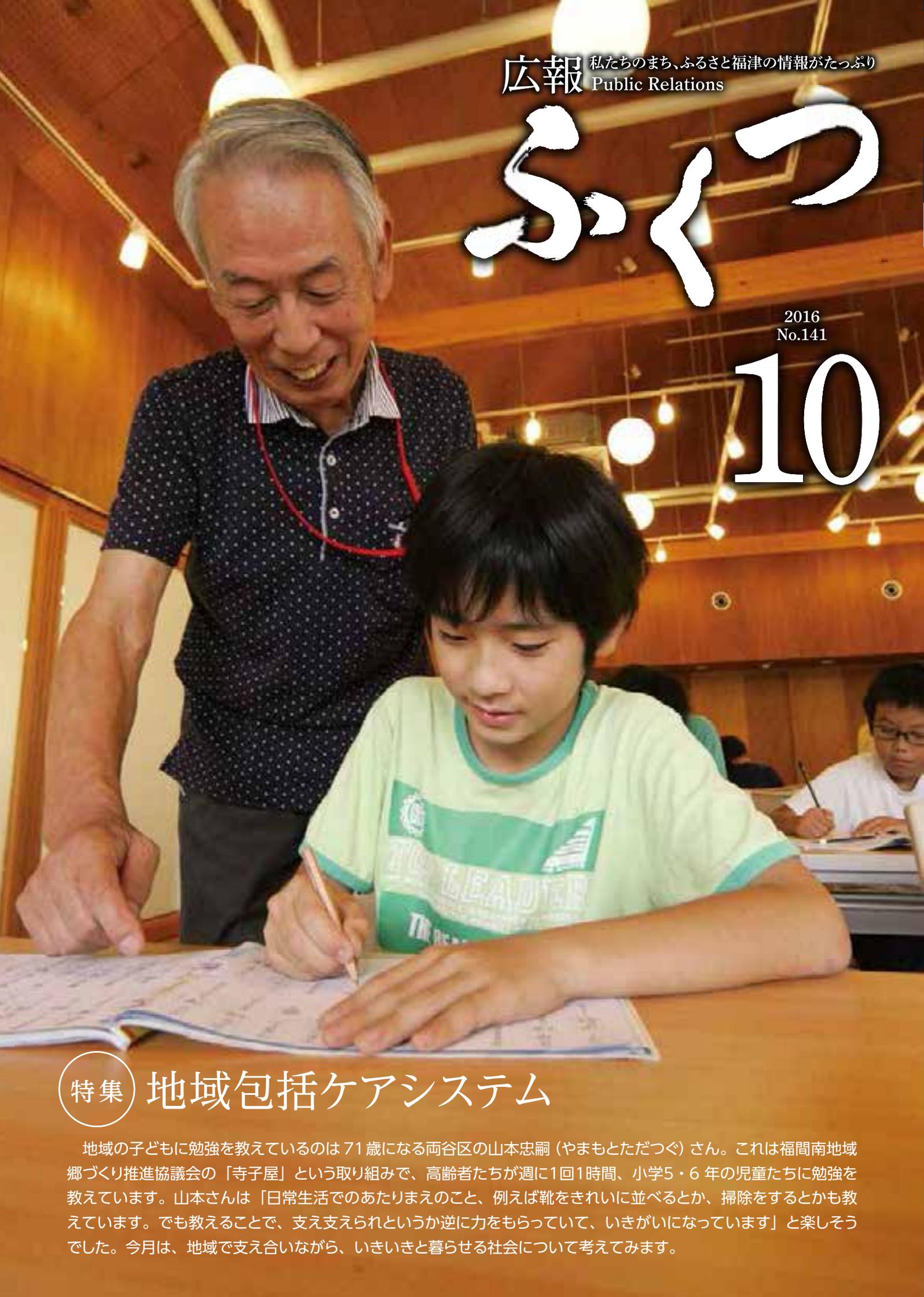


ふくつ

2016
No.141

10



特集

地域包括ケアシステム

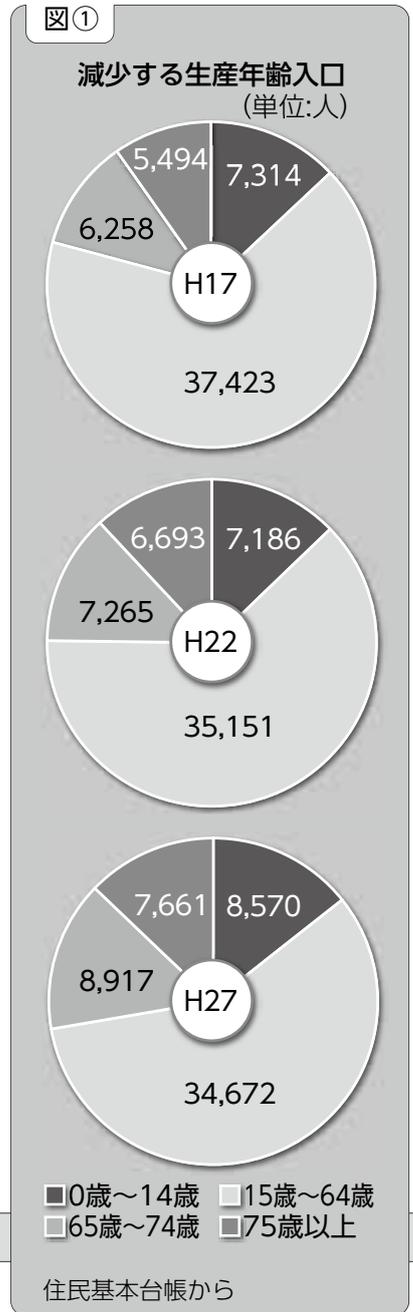
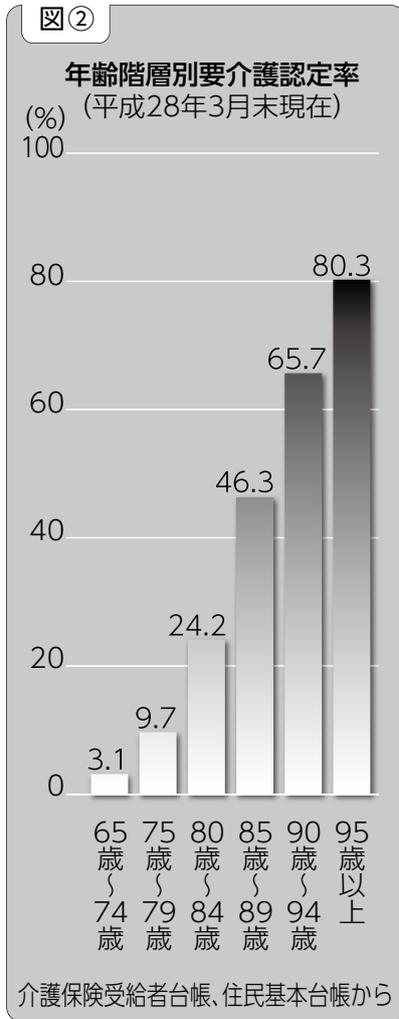
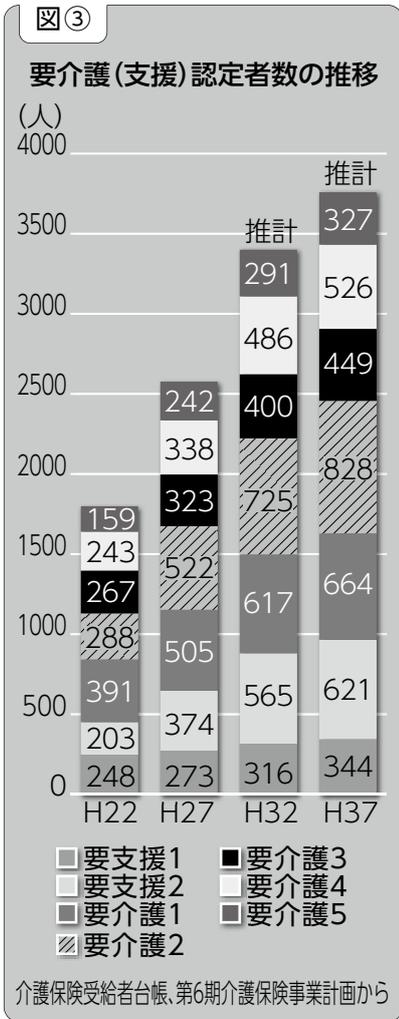
地域の子どもに勉強を教えているのは71歳になる両谷区の山本忠嗣（やまもとただつぐ）さん。これは福間南地域郷づくり推進協議会の「寺子屋」という取り組みで、高齢者たちが週に1回1時間、小学5・6年の児童たちに勉強を教えています。山本さんは「日常生活でのあたりまえのこと、例えば靴をきれいに並べるとか、掃除をすることも教えています。でも教えることで、支え支えられというか逆に力をもらっていて、いきがいになっています」と楽しそうでした。今月は、地域で支え合いながら、いきいきと暮らせる社会について考えてみます。

特集 地域包括ケアシステム

いつまでも いきいきと 暮らすために

「2025年問題」という言葉を御存じでしょうか。2025年頃の日本で「団塊の世代」の人々が75歳以上となることで起こる諸問題のことです。医療・介護・福祉サービスの需要が高まり、健全な社会保障制度の運営に影響が出るといわれています。福津市では、その2025年を迎える前に、地域包括ケアシステムの構築を目指しています。今月は地域包括ケアシステムの特集です。





●数字で見えてくる現状

福津市の未来

そんな状況のなか、これからの超高齢社会において、どのような福津市であれば「住み慣れた地域でいつまでも自分らしくいきいきと」暮らすことができるのでしょうか。そのための取り組みを今、始めています。

そのために、今のままでは認定者数が大幅に増えていくことが予想されます(図③)。

また、高齢者だけの世帯、単身世帯も年々増加しています。そして、高齢になれば介護が必要な人の割合は増えていきます。福津市では、85歳以上になると半数近くの人が要介護認定を持っている状況です(図②)。

また、高齢者だけの世帯、単身世帯も年々増加しています。そして、高齢になれば介護が必要な人の割合は増えていきます。福津市では、85歳以上になると半数近くの人が要介護認定を持っている状況です(図②)。

住

み慣れた地域で、いつまでも自分らしく、いきいきと暮らしたい。それは誰もが願う、ごくあたりまえの気持ちです。



特集

地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムとは

住み慣れた地域で暮らす仕組み

超高齢社会において、誰もが暮らしやすい社会、共に生きる社会の実現に向け、市民の皆さんと取り組み始めました。

地

地域包括ケアシステムとは、住まいを中心に医療・介護・介護予防・

生活支援が一体的に提供される体制を確保し、住み慣れた地域で自分らしく人生の最後まで暮らし続けることができる、体制のことです(図④)。

三位一体で
取り組みました



幸坂由恵さん (原町1区)
原町元気塾スタッフ・小地域福祉会

原町公民館で介護予防の取り組みとして行われている『原町元気塾』のスタッフをしています。8年間続いた市の事業『すっきり脳の健康教室』が終了するとき、参加者の「続けてほしい」という声、スタッフの「続けたい」という気持ち、原町連合会のバックアップがあってその三位一体の取り組みで今年度から再スタートしました。もともと障がい者問題にも興味があったので「共生社会について語りませんか」にも参加をしました。小地域福祉会や学校ボランティアとしても活動しています。買い物支援など、暮らしやすい地域にする取組をしていきたいと思っています。

住まいが中心

●住み慣れた地域でいつまでも

郷づくり推進協議会、
老人クラブ、NPO、
ボランティア、自治会など



自治会や
ボランティア
への参加
活動の
場の提供

生活
支援



図④

介護
予防

住まい



いつまでも元気に
暮らすために

医療ケア・
サービスの提供



医療



病気になったら

通院・
入院

通所・
入所

介護ケア・
サービスの
提供



地域包括
支援センター・
ケアマネジャー

介護が
必要に
なったら

介護



医

療や介護といった専門職によるサービスの充実を図ることはもちろんですが、介護予防や生活支援といった分野では、地域での助け合いの仕組みづくりが必要不可欠です。

今までの「公助」「共助」といった公の制度や介護保険サービスだけでなく、自ら介護予防に取り組む「自助」、地域においてお互い様で助け合う「互助」が大変重要になってきます。近い将来、生産年齢人口の減少で支える側の担い手が不足してきます。生活上のちょっとした困りごとを、無理のない助け合いで解決できるかどうか、そのことは、その地域に住み続けるため

異世代間の交流を 考えています



協議体に参加します

長井和子さん (若木台5区)
傾聴ボランティアほほえみ

傾聴ボランティアの活動のほか、社会福祉協議会の「ふくつのふくし講座」で出会った仲間と地域でコミュニティ食堂を始めようと、場所を検討しているところです。初めはこども食堂を考えていましたが、一人で食事をとる高齢者も多いので、子どもに限らず来ることのできるコミュニティ食堂にしました。いずれは子どもから高齢者までが集える異世代交流の場所にしていくのが夢です。昔ながらのお互いさまの助け合いが大切だと思います。思いを同じくする人にたくさん集まってもらいたいのので、少しずつ地域の中でも声かけをしていきたいと思っています。

子どもが遊びに来る 介護保険施設に



協議体に参加します

石川哲也さん (新東区)
小規模多機能施設あかりケアマネジャー

私が働いている「あかり」は、住宅地の中にある民家を改装した介護保険施設です。自宅から通うことも、泊まることもできます。一般住宅のような造りなので、認知症のかたも利用しやすいと思います。介護保険施設ですが、子どもたちや地域のかたにいつでも遊びにきてもらえる場所にしたかったと考えています。これからは地域力を上げていくことがとても大切になると思います。介護保険だけでできることには限界があるからです。昔ながらの助け合いがある地域になるようみんなで取り組みたいです。多様な立場のかたと新たなつながりができる「協議体」に期待しています。

のとても大きな要素となります。また地域包括ケアシステムは高齢者だけに限定されたものでも、障がいがあっても、認知症になっても、誰も排除されるこ

となく共に暮らす社会、共生社会を目指すものです。この共生社会は、「支える人」「支えられる人」の二分ではなく、お互いに支え、支えられながら、全ての人々が自分の役割を持つことができる社会です。地域での助け合いを含むさまざまな活動で役割を持つことはいつまでもいきいきと暮らすことにつながっていきます。

この共生社会を目指し、地域での助け合いの仕組み作りを推進するため、市では昨年12月から「共生社会について語りませんか」と題し、市民のかたとともに地域での助け合いについて、月に一度話し合いを進めてきました。

特集

地域包括ケアシステム



共生のまちを目指して

新たに誕生した協議体と 生活支援コーディネーター

支え、支えられて暮らしていく。そんな助け合いの仕組みを創っていくための新しい取り組みについて紹介します。

助

け合い活動を推進するため、新たに誕生した制度が「協議体」と「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」です。

協議体とは、誰もが住みやすい「共生社会」を創るために、皆さんが住む地域に、どんな仕組みや助け合いがあれば暮らし

ネットワーク作りに
期待しています



協議体に
参加します

高橋新一郎さん

セブン-イレブン福岡海岸通り店・
福津津屋崎店経営（見守り協定締結事業所）

20年程前はコンビニが出店すると地域の風紀が乱れるように言われたものでした。しかし今は市との見守り協定も含め、地域から必要とされているように感じています。宅配もしていますので、担当者は高齢のかたの注文のお手伝いもしています。宅配は必ず手渡しですので、安否確認にもなっています。「共生社会について語りませんか」には、営利企業であっても地域の中でどこまでの役割が持てるか、見極めたいという気持ちもあり、参加をしました。協議体では、参加者それぞれの活動を知ること、それによる新たなネットワークづくりに期待しています。

共生のまち

●自分らしくいきいきと

やすいのか、話し合いや情報共有をする場です。

協議体は、多様な主体の対等な連携の場です。特定の団体に属するものではありませんが、市民や事業所、各種団体などが協力・連携していくことで、地域の助け合いがより一層豊かになることが期待できます。

この協議体の準備会として「共生社会について語りませんか」を開催し、市民や事業所、民間企業、民生委員・児童委員、ボランティア団体、社会福祉法人、NPO法人など、さまざまな立場のかたがたが毎回70人ほど参加しました。そこで主にグループでの話し合いと発表を通じて、地域での助け合いについて

考えてきました。

この準備会を経て、10月末には、いよいよ協議体としてスタートします。

地域での助け合いを進めていきたいという熱意のあるかたであれば、役職の有無に関わらず、どなたでも協議体に参加することができます。事前に市高齢者サービス課へ協議体参加をご提出ください。参加届は高齢者サービス課にあります。多くのかたがたの参加をお待ちしております。

「生活支援コーディネーター」とは、地域での支え合いや助け合いの活動を推進する人で、協議体と協力し合い、ともに活動します。活動のための情報提供や、様々な主体が共働できるような働きかけ、市への提案も行います。

市ではこの生活支援コーディネーターの業務を委託することとし、8月に公募を行いました。10月には委託候補先と契約を行い、11月から業務を開始する予定です。

協

議体も、生活支援コーディネーターも新しい仕組みなので、まだまだ知らないかたが多いのではな



特集

地域包括ケアシステム

みんなで創ろう、 支え合いのまち

『福津』

～協議体の誕生とこれから～

開催日時 11月19日(土)

12:30 開場 13:00 開演

17:00 終了予定

場所 ふくとぴあ 健康プラザ

プログラム

- 協議体誕生までの歩み
- 他地域の事例発表
- 生活支援コーディネーター紹介
- みんなで考えよう福津のこれから

主催 福津市、
公益財団法人さわやか福祉財団

ぜひ、
御参加を！

参加
申し込みが
必要です

対象者 市内在住者、在勤者

受付方法 電話、ファクス、
メールのいずれか

※メールでお申し込みの際は、タイトルを
「フォーラム申し込み」とし、市からの返信メー
ルが受信できるよう設定をお願いします。

申し込みに必要な内容

市内在住者 氏名、住所、性別、連絡先電話番号、
ファクス番号、託児の有無

市内在勤者 上記に加え、勤務先名、所在地
※申し込み多数の際は、お断りすることがあり
ます。御了承ください。

託児 要予約。生後6か月以上の未就学児。一
人300円

受付期限 11月10日(木)

受付、問い合わせ 市高齢者サービス課

☎43・8298 FAX34・3881

E-Mail : koreisha@city.fukutsu.lg.jp

いかと思います。しかし10年後、
20年後、住み慣れた地域でいき
いきと暮らし続けることができ
る福津市であるかどうかは、い
かに地域に支え合いの仕組みを
作っていくかにかかっています。
今後、市は協議体メンバー
や生活支援コーディネーターと
ともに、地域のかたと話し合う
機会を持ち、支え合いに参加し
たいと思うかたを増やしてい
くよう取り組んでいきます。

支え合いへの参加はなにも特
別なことではなく、自分のでき
ることを少しだけ「ついでに」
することから始まります。

人は支え合って
生きています

協議体
に参加します

木下多美子さん(大和1区)
福津市在宅介護者ぶどうの会

夫を介護した経験から「在宅介護者ぶどうの会」に入りました。その縁で「共生社会について語りませんか」のことも知りました。人は支え合って生きている、と思います。夫を介護していたとき、人の優しさに触れて涙が出ました。歳を取るということはマイナスばかりではなく、たくさんの経験を積むということでもあります。そして私は人からいつも学ばせてもらっています。地域で支え合うことはとても大切です。私は高齢で、支える立場にはあまりなれないかもしれませんが、支えられる立場からも話ができれば、と思って協議体に参加届を出しました。

まずはこの地域での支え合い
について、また協議体や生活支
援コーディネーターについて知っ

ていただくために、フォーラム
を開催します。お誘い合わせの
上、ぜひ御参加ください。

まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。

問い合わせ 市広報秘書課 ☎ 43・8113



世界遺産登録へのステップ

イコモスが古墳群視察



▲古墳を歩きながら調べるイコモスの調査員とその案内役たち

来夏の世界文化遺産登録を目指している「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」。

政府が今年1月に世界遺産の推薦書を国連教育科学文化機関（ユネスコ）に提出したことを受け、ユネスコは諮問機関である国際記念物遺跡会議（イコモス）に調査を依頼していました。そのイコモスの調査員が9月9日、福津市を来訪しました。古墳群などの遺産の保存状況などを現地で直接確認するためです。

小山市長がお出迎えする中、イコモスの調査員は新原・奴山古墳群の古墳を1基、1基歩いて丁寧に確認しました。歩く途中何度も、案内役を務めた県や文化庁の担当者に質問を投げかけていました。

イコモスでは今回の調査結果を踏まえ、世界遺産にふさわしいかどうかの判断を来年の5月頃にユネスコへ勧告するそうです。

放水、始めっ！

福岡県消防操法大会

県内各地から地区大会を勝ち進んだ消防団が9月11日に県消防学校に集まり、県大会が催されました。市からは小型ポンプの部に第11分団（本木区、畦町区）、自動車ポンプの部に第10分団（上西郷区、内殿区、舍利蔵区）が出場。競い合いを制したのは小型ポンプの部が須恵町消防団、自動車ポンプの部が志免町消防団でした。市消防団は

残念ながら入賞することはできませんでしたが、操法披露時には他市町村消防団員や観客から健闘をたたえる拍手が沸き起こっていました。

第11分団の指揮者を務めた吉田晋一さんは「夜遅くまで練習し、みんな精一杯がんばりました。多くの人に指導や応援をいただいたので、入賞しなかったのですが」と悔しさをにじませていました。



▲標的に向け放水する第11分団



▲金刀比羅神社の秋祭り

地域の人が支えている伝統行事の御神幸祭（秋祭り）。県内で一番早いといわれる9月9日の金刀比羅神社での秋祭りは、大名行列の練り歩きや獅子楽などが披露されました。この祭りを皮切りに、市内各地の神社で秋祭りが催されました。五穀豊穣や家内安全などの願いがこもった秋祭りには、地元の人以外にもたくさんのお見物人が集まり、秋の訪れを楽しんでいました。

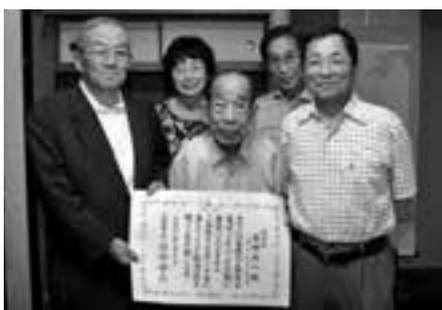
地域が支える伝統行事 市内各地で秋祭り



▲大小の古墳と田園風景を楽しむ参加者

まちづくりに取り組む3団体、「津屋崎千軒海とまちなみの会」「藍の家保存会」「津屋崎ブランチ」が9月17日、「津屋崎千軒フットパスまつり」を開催しました。世界遺産候補の新原・奴山古墳群を巡るコースや、「絶景の道100選」に選ばれた津屋崎フットパスコースの2コースに分かれて参加者と歩いた後、会場を移して豊村酒造でパネルディスカッションなどを開いていました。

津屋崎の絶景、歩き語る フットパスまつり開催



▲祝状を持つ高田さん

自宅や市内の介護保険施設で生活する100歳以上の人を9月14日と15日、市長が訪問しお祝いをしました。今年100歳になる高田政一さん（宮司1区）は、定年退職後に軟式テニスを始めるなど、昔は体を動かすのが好きだったそう。「今はテレビでスポーツ観戦するのが楽しみ」と笑顔で話をしてくれました。

長寿おめでとう！ 100歳以上を慶祝訪問



▲左から渡辺三空さん、本松隆大さん、中村るかさん、竜口尚大さん、小山市長、中西龍之介さん

今夏、中体連全国大会などで活躍してきた市内の中学生5人が8月30日、市長へ報告をするために市役所に集まりました。生徒たちは緊張した面持ちで市長と対談。市長は「貴重な体験をして、そこで何を感じたかが大事です。経験は、これからの人生で必ず役に立ちます」と語っていました。

九州大会、全国大会に出場しました 中学生が市長に報告

男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。



▲福間小学校教職員の皆さんに語りかける石崎さん

子ども一人一人が自分らしく生きるために

7月29日(金)、夏の日差しが厳しい午後、福間小学校の先生たちが、同校の図書室に集まりました。夏休みの期間を利用して行われる先生たちの勉強会です。

今年のテーマは、セクシャルマイノリティ(性的少数者)。講師は、福岡を拠点にセクシャルマイノリティの子どもや若者を支援する団体「FRENDS(フレンズ)」の石崎杏理さんです。

石崎さん自身も、セクシャルマイノリティの一人です。自身の経験を講演で話すことで、セクシャルマイノリティ

への理解と支援を求めています。また、実際に思い悩み、苦しんでいる子どもや若者の相談を受けたり、支援したりする活動もされています。

皆さんは、「男」「女」以外にも、性の在り方を表す言葉があることを御存知でしょうか。実は、この二つ以外にもたくさんあります。その中でも、最近耳にする機会が多くなってきたのが、「LGBT」です。「L」はレズビアン。性自認が女性で、女性を好きになる人のことです。「G」はゲイ。性自認が男性で、男性を好きになる人のことで

す。「B」は、バイセクシャル。性別を問わずに好きになる人のことです。「T」はトランスジェンダー。生まれたときの性別と違う生き方をする人のことです。国内において、セクシャルマイノリティの人は、13人に1人の割合でいるといわれています。今夏行われたリオデジャネイロオリンピックにおいても、セクシャルマイノリティであることを表明した選手が50人以上と史上最多だったことが報道されていました。13人に1人ということは、学校でいえば、クラスに2人または3人程度いる可能性があるということになります。先生たちにとっては、決して他人事ではなく、とても真剣な表情で聞いていました。

質疑応答の時間では、先生たちから多くの質問が出ていました。その一つ一つにとても丁寧に回答されていた石崎さんは、多様な性の子どもたちも安心して通える学校づくりを先生たちにお願ひして勉強会を終えました。

問い合わせ 市男女共同参画推進室 ☎43・8116

図書館蔵書案内

運命の一冊

一冊の本が、ひょっとしたらあなたの人生を変えるかもしれません。紹介している本以外にも、約20万冊の本がある市立図書館に、運命の一冊を見つけにきてみませんか。

問い合わせ 市立図書館 ☎42・8000

一般書

「つるとはな」 岡戸絹枝編集 つるとはな



読めば分かる。元氣が出る。人生の先輩に話を聞く小さな場所「つるとはな」。いろんなユニークな先輩たちを取材して紹介します。

「老人漂流社会」 NHKスペシャル取材班著 主婦と生活社



どこで老後を過ごすのか。どこに安心できる終のすみかがあるのか……。超高齢社会の今、誰もが自分の問題として考えなくてはなりません。

「中学・高校生向け

「おばあちゃんが、ぼけた。」 村瀬孝生著 理論社



老人通所施設の若き所長による、仰天レポートの数々。ぼけについて感じ、考えることには、人生そのものを問うおもしろさがあります。

「生きるぼくら」

原田マハ著 徳間書店



ひきこもり生活を送る麻生人生は、ついに母から見捨てられてしまします。久々に訪ねた祖母のもとで、自分を取り戻す旅が始まります。

きっとステキな本に出会える...はず





未来の世界遺産が見えてくる!?

発掘の現場

平成29年の夏に世界文化遺産登録を目指している新原・奴山古墳群を含む『神宿る島』宗像・沖ノ島の関連遺産群」も、発掘から物語が始まりました。はてさて今月は、どのような物語が発掘現場から見えてくるのでしょうか。

古墳時代の絵画?

昨年発掘調査した上西郷ババナタニ遺跡の出土遺物に、外面に複雑な線刻(写真)を刻んだ須恵器大甕があります。6世紀代に築かれた古墳の墓道に置かれた状態で見つかったもので、墓前祭祀に使われたと思われます。砲弾形に描いた外形内部の左側2/3を5本の縦線、残り1/3を1本の横線で区画しています。甕の外面に×や△等をヘラで刻んだ例はありますが、この資料はそれらより複雑で、記号というよりも絵画的な印象を受けます。何を描いているのかは分かっていませ



▲大甕に刻まれた線刻

んが、土器の出土状況からすると祖霊に対する鎮魂といった意味合いを含んでいるのかもしれませんが。

問い合わせ 市教育総務課 ☎62・5093



迷ったら一人で悩まず相談を!

消費生活相談

このコーナーでは、悪質商法や商品事故など実際に起きている、消費生活における問題事例を紹介しています。消費者被害は決して他人事ではありません。迷ったり、困ったりしたら、一人で悩まず、ぜひ相談してください。

無料セミナーで思わず高額契約を!

インターネットで“副業情報”を検索すると、無料のセミナーの予定があったので行ってみた。ネットビジネス成功者の話で会場が盛り上がり受講契約をしたが、解約したい。

A 冷静な対応をしましょう

無料セミナーの会場で、ある種の洗脳のような状況の中、高額な契約をすれば必ず成功するかなのような勧誘が行われることがあります。契約した場所がセミナー会場で、勧誘方法に不意打ち性がある場合、クーリング・オフが適用されます。しかし、解除期間を過ぎて解約を申し出ると、高額な解約料を要求されることもあります。大げさなもうけ話や成功例などの勧誘には、くれぐれも気を付けましょう。

※毎週月曜・水曜・金曜日(9:00~16:00)は市消費生活相談室 ☎43・8106で相談を受け付けています。

※県消費生活センター ☎092・632・0999でも随時相談を受け付けています。

問い合わせ 市地域振興課 ☎62・5014

今月のイチオシ

図書館では一押しの本を集め、ロビーに特集コーナーを作っています。

特集テーマ 「いざ、読書。」

寝る前、通勤通学の電車の中で空いた時間は不意にやってきます。そんな時、本は手軽。一度開けば、あっという間に別世界。さあ、皆さん、いつでもどこでも「いざ、読書。」

期間 10月30日(日)まで
※10月17日(月)から10月27日(木)は蔵書点検のため休館します。



「毎日アルツハイマー」 関口祐加監督

認知症と診断された母親を、2年半にわたり撮り続けた長編動画。日常の場面で認知症の人や家族が出会う出来事をユーモアいっぱい描きます。



「ハリートント」 ポール・マザーズ監督 アート・カーニー出演

老人ハリートと猫のトントの旅を通して人生の哀歓が情感豊かに描き出される傑作ロードムービー。アカデミー主演男優賞受賞作。



「おもいででチョココレートのにおい」(作・絵)バーバラ・マクガイア

あなたの大切な人がアルツハイマー症になったら……。前半は物語、後半は病気の解説という二部構成で、子どもの理解を深めます。



「ばあちゃんの笑顔をわすれない」今西乃子著 岩崎書店

小学生向け

介護福祉士という仕事を選んだ青年は、涙と笑いの日々になんを感じ、学んだのか。大きな感動と出会いを描いたノンフィクション。



国土調査補完指導員 非常勤嘱託職員を募集

国土調査補完事務や不動産登記事務を行う、国土調査補完指導員を募集します。詳細はお問い合わせください。
対象 平成29年4月1日現在満18歳以上で、不動産登記の実務経験者 ※在学中の人は除く
定員 1人
任用期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日
報酬 月額17万4千円程度
採用方法 面接及び書類選考
受付方法 申込書兼履歴書に必要事項を明記、押印して顔写真(縦4cm×横3cm、6か月以内撮影)を貼り、市建設課に提出。 ※申込書兼履歴書

落合恵子さん 講演会を開催します

書は市建設課で配布のほか、市公式ホームページでもダウンロード可。
受付期間 10月3日(月)～10月21日(金)
受付、問い合わせ 市建設課
 ☎62・5064

書くだけでなく行動する社会派作家、落合恵子さんの講演会です。「おとなの始末」をテーマに、人生90年時代の生き方や考え方、家族や友人関係、地域社会とのつながり方などを大人世代に向けて語ります。講演終了後には、サイン会を予定しています。要予約。

日時 12月11日(日) 午後1時30分～午後3時
場所 市立図書館研修室1
定員 先着90人
託児 要予約 生後6か月以上の未就学児 一人3000円
受付期間 11月5日(土)～11月30日(水) ※市立図書館窓口か電話
受付、問い合わせ 市立図書館
 ☎42・8000

プリンセス駅伝 3 宗像・福津

〔第2回全日本実業団対抗女子駅伝予選会〕

交通規制に 御協力をお願いします

大会の安全で円滑な運営のために、全面通行止め等の交通規制を実施します。選手が通過する前後の時間帯は、コース周辺道路の混雑が予想されます。周辺にお住まいの人や、付近を通行予定の人には御迷惑をおかけしますが、御理解と御協力をお願いします。

西鉄路線バス運行ダイヤの変更が予想されます

大会当日の路線バス運行ダイヤに、遅延や運休等の発生が予想されます。
西鉄バス運行に関する問い合わせ についてお客さまセンター ☎0570・00・1010
地元の郷土料理がふるまわれます
 各ポイントで地域の逸品を味わえます。
①あんずの里ふれあいの館
 あんずの里市利用組合が作る

指定管理者募集の お知らせ

指定候補者の決定は11月下旬を予定しています。なお、指定の決定には議会の議決が必要です。

福津市複合文化センター

対象施設 旧市役所津屋崎庁舎 ※3階を除く。市文化会館(カメリアホール)
募集期限 10月31日(月)
説明会 10月12日(水) 午後1時30分 ※10月7日(金)

福津市大規模公園

対象施設
 ①福津市総合運動公園(なまぐの郷)、久末総合公園(みずがめの郷)、本木川自然公園(ぼたるの里)
 ②あんずの里運動公園(あん

10月23日(日)
宗像ユリックス
 12:10 スタート
 宗像市～福津市～宗像市
 (6区間 42.195 km)

名物だんご汁 ※先着2千食
②宮地嶽神社前バス停 宮司地区郷づくり推進協議会が作る手づくりぜんざい ※先着千食
③セブイレブン福津津屋崎店駐車場 津屋崎地域郷づくり推進協議会が作る郷土料理だぶ ※先着700食
問い合わせ 市郷育推進課 ☎62・5079

ずの里)、宮の元公園
募集期間 10月6日(木)～10月28日(金)
現場見学会
 ①10月13日(木) 午後1時30分～ ②10月14日(金) 午後1時30分 ※両日とも10月12日(水)までに要予約
募集要領配布場所 市建設課か市公式ホームページからダウンロード
指定期間 平成29年4月1日～平成34年3月31日
受付、問い合わせ 市建設課 ☎62・5062

子育て講座の御案内

「子どもとのより良い関係を築くために」をテーマに、子育てに関する悩みに応えます。

日時 11月11日(金) 午前10時～午前11時30分

場所 ふくとぴあ2階わくわくルーム

講師 アクティブ・ペアレン

ティングトレーナー 野口紀

子さん

定員 45人

託児 11月4日(金)までに

要予約 生後6か月以上の未

就学児 一人300円

受付期限 11月8日(火)

受付、問い合わせ 市のびの

び発達支援センター ☎42・9119

むなかた産大豆巡りの参加者を募集

大人向けツアーです。ほ場の見学やみそづくり体験、豆腐の試食等を行います。むなかた産大豆と小麦を100%使った醤油のお土産もあります。

日時 11月11日(金) 午前9時～午前8時45分受付

集合 JAむなかた本店 ※その後バスで移動

費用 1200円

定員 20人 ※応募多数の場合は抽選。結果は郵送。初参加者優先で、子ども連れでの参加は不可

受付期限 10月20日(木)

受付、問い合わせ 市のびの

秋の1日「ほっとする町」畦町へ 唐津街道畦町宿祭りを開催します

手づくりの雑貨や食品、新鮮野菜などを販売するバンコ市や中央舞台での出し物があります。また、宿馬車が走ったり、郷土料理「だぶ」がふるまわれたりと、楽しい催しがたくさんあります。

日時 10月22日(土) 午前10時～午後3時30分 ※灯笼前

夜祭は10月21日(金) 午後7時～

問い合わせ 唐津街道畦町宿

保存会 ☎080・9244・5128

受付、問い合わせ むなかた地域農業活性化機構 ☎36・7883

シルバー人材センター 普及啓発事業を開催します

包丁研ぎやリサイクル自転車の販売等を行います。

日時 10月29日(土)～10月30日(日) 午前10時～午後3時

※包丁研ぎ午前10時～午後2時受付、自転車販売午前10時～正午受付

場所 カメリアホール

問い合わせ 市シルバー人材センター ☎43・6541

スポーツ推進審議会の委員を募集

詳細はお問い合わせください。

審議内容 福津市スポーツ推進計画について

対象 市内に在住か在勤の20歳以上の人

報酬 1回4800円

開催頻度 2か月に1回程度

募集人員 二人以内 ※応募

多数のときは選考し、応募者

全員に結果を通知

委嘱期間 2年以内 ※初回は11月を予定

応募方法 400字詰め原稿用紙2枚程度の小論文に、住所、氏名、性別、生年月日、電話番号を明記し市総務課に提出

論文テーマ 「スポーツと健康づくりについて思うこと」

受付期限 10月20日(木) ※郵送は当日消印有効

託児 要予約 生後6か月以上の未就学児 一人300円

問い合わせ 市郷育推進課 ☎62・5079

ふくおか子育てマイスター認定研修会を開催します

子育てを応援したい60歳以上の高齢者を対象に、子育て支援に関する研修会を開催します。受講無料です。

日程 10月31日(月)、11月4日(金)、11月7日(月)、11月14日(月)、11月21日(月)、11月22日(火)、11月29日(火)

場所 福岡市中央区ふくふくプラザ

受付、問い合わせ 県70歳現

役応援センター ☎092・481・1312

ひとり親家庭のためのパソコン経理会計実務講習会

ひとり親家庭の母、父か、かつて母子家庭だった寡婦で、就職や転職を希望する人が対象です。託児あり。

期間 11月22日(火)～12月9日(金)までの火曜、木曜、金曜日の夜9日間

受付期限 10月31日(月)

受付、問い合わせ 県ひとり親家庭等就業・自立支援センター ☎092・584・3931

福津・宗像起業塾を開催します

市内や宗像市で開業を目指す人が対象です。参加無料ですが、全日程に参加が必要です。

日時 ①10月30日(日)、②11月6日(日) 午前9時～午後5時

場所 ①市商工会、②宗像市商工会

定員 先着20人程度

受付期限 10月21日(金)

問い合わせ 市商工会 ☎42・0315

福岡女子大学で、本格的な実験を体験してみませんか

ショウジョウバエの観察や浴室用シャワーヘッドの物理特性実験等をしながら、福岡女子大学の学生や先生からいろいろな話が聞けます。

日時 11月3日(木・祝) 午後0時20分～午後5時

集合 市役所 ※福岡女子大学までバスで移動

対象 高校1～2年生 ※保護者同伴可

費用 500円

定員 15人 ※応募多数の場合抽選

受付方法 参加者氏名、学年、住所、電話番号を電話かファクスで連絡

受付期限 10月24日(月)

受付、問い合わせ 地域振興課 ☎62・5014 FAX 43・9003

行政相談週間のお知らせ

10月17日(月)から10月23日(日)は行政相談週間です。行政への意見や苦情、要望等

を無料で受け付けます。

合同行政相談所

日時 10月19日(水) 午前10時30分～午後4時

場所 J.R博多シティ

問い合わせ 行政評価局行政相談課 ☎092・431・7082

定例行政相談

毎月第2水曜日に行政相談を実施しています。

日時 10月12日(水) 午前10時～午後3時

場所 ふくとびあ2階会議室

相談委員 入江暁子さん、岩崎加寿美さん

問い合わせ 市人権政策課 ☎43・8129

ふくつ&むなかた直売所へ行くこう！2016

5か所の指定直売所で各500円以上購入すると、抽選で150本、総額20万円のお買い物が当たります。

期間 10月1日(土)～11月30日(水)

場所 あんずの里市、ふれあい広場ふくま、とれとれプラザかのこの里、ほたるの里、道の駅むなかた

受付方法 各直売所にある用紙に5店舗分のレシートを貼り、必要事項を記入し応募

問い合わせ 宗像地域直販施設連絡協議会 ☎43・8833

3

女性のための無料法律相談を開催します

市内在住の女性が対象です。要予約。

日時 11月4日(金) 午後1時～午後4時45分 ※一人45分

場所 市役所

定員 先着4人

相談員 岩城和代弁護士

託児 要予約 生後6か月以上の未就学児 一人300円

受付期間 10月21日(金)～11月2日(水)

受付、問い合わせ 市男女共同参画推進室 ☎43・8116

心の健康相談を御利用ください

相談は精神保健福祉士が受け、秘密は固く守られます。

日時 10月24日(月) 午後2時

今年も販売

世界遺産応援年賀はがき

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は来年7月の世界文化遺産登録を目指しています。昨年に引き続き、新原・奴山古墳群のイラスト入りのオリジナルはがきを作成中です。市が世界に誇る新原・奴

山古墳群を、より多くのかたに知ってもらうための取り組みです。デザインや販売方法等の詳細は広報ふくつ10月15日号に掲載します。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113

時～午後4時 ※一人1時間

場所 ふくとびあ

受付期限 10月19日(水)

受付、問い合わせ 市いきいき健康課健康づくり係(ふくとびあ) ☎34・3351

「はかり」定期検査のお知らせ

はかりを取引や証明に使用する人は、必ず受けてください。対象は商店や事業所のはかり、分銅、おもりです。特定計量器定期検査実施通知書を持参してください。また、計測費用や計測できる重さが300kgを超えるものについてはお問い合わせください。

日時 ①10月24日(月) ②10月25日(火) ③10月26日

共創館

くすりと健康フェア2016を開催します

医薬品や薬剤師等の役割を知ってもらうためのイベントです。詳細は県薬務課のホームページを御覧ください。

日時 10月22日(土) 午後2時～午後4時40分

場所 福岡市中央区電気ビル

問い合わせ 県薬務課 ☎092・643・3284

目次

Public Relations
みんなと市のいい関係

2 特集 地域包括ケアシステム
8 まちの話題
10 男女／消費生活／発掘現場／
 図書
12 情報広場
16 世界遺産への道

市の情報

ホームページやフェイスブックでも市の情報を発信しています。ぜひ御覧ください。カメラ付き携帯電話などで右のQRコードを読み取ると、簡単です。

市公式ホームページ
<http://www.city.fukutsu.lg.jp>



携帯電話版市公式ホームページ
<http://www.city.fukutsu.lg.jp/mob/>



市公式 Facebook
<https://www.facebook.com/fukutsu.city>



広報紙についての問い合わせ
市広報秘書課
☎43・8113 FAX 43・3168
メール info@city.fukutsu.lg.jp

市の木と花

市制10周年の記念として平成27年1月に市の木、市の花を制定しました。



松 あんずの花 なの花

8月のひとの動き

人口	61,380人	(+1,560)
男	28,834人	(+771)
女	32,546人	(+789)
世帯数	25,514世帯	(+831)
出生59人 死亡52人 転入248人 転出168人		
※()内は前年同月比		8月末現在

編集後記

限界への挑戦は人を感動させます。障がい者スポーツ最大の祭典であるパリンピックが閉幕しました。テレビで見ている、アスリートたちの戦う姿、生き生きとした表情には力強いオーラを感じました。障がいを忘れさせるほどの圧倒的な力がありました。感動でグッとくるのはもちろんですが、それと同時に、我が身の仕事ぶり生活ぶりが恥ずかしくもなります。読まれる広報紙を目指して、もっともっと精進しなければ…。

情報広場

夕陽館のイベント案内
元気印企画「笑いヨガ」
笑顔が飛び交う時間です。
日時 10月12日(水) 午後0時30分
フォークデュオステージショー
おなじみの曲が楽しめます。
日時 10月14日(金) 午後0時30分
手作り化粧まわし展示会
宮地相撲クラブの手づくり化粧まわし展です。
日程 10月19日(水)～11月28日(月)
福永智樹の話し方教室
滑舌良く、はつらつと話をしましょう。
日時 10月21日(金) 午後0時30分

津屋崎千軒なごみのイベント案内
「しあわせの国ブータン」
自然の恵みとともに暮らす人々
民族衣装とお茶の体験やスライド上映、有料体験等。詳細はお問い合わせください。
期間 10月19日(水)～10月23日(日)
なごみ異業種交流会
ブータンのプチ軽食、飲物付き。要予約。
日時 10月21日(金) 午後7時～午後9時
費用 2千円
岡村陶人形教室作品展

陶人形の展示即売会です。
期間 10月28日(金)～11月3日(木・祝)
問い合わせ 津屋崎千軒なごみ ☎52・2122
福津市観光協会のイベント案内
いずれも要予約。
手打ち蕎麦と睦町宿散策
日時 10月4日(火) 午前9時30分
集合 福岡駅ふつくる
費用 980円
定員 10人
宮地岳登拝・光の道下見ウォーク
日時 10月8日(土)
集合 ①ふつくる前午前8時50分 ②宮地嶽神社第一駐車場

午前9時20分
費用 400円
福岡にあった国保の源流「定礼制度」をたどる旅
日時 10月14日(金) 午前9時30分
集合 福岡駅ふつくる
費用 440円
問い合わせ 市観光協会 ☎42・9988
グラウンドゴルフ
男女ペア大会の御案内
第12回大会を開催します。市内在住、在勤のグラウンドゴルフ愛好者が対象です。
日時 11月10日(木) 午前9時～ ※予備日11月17日(木)
場所 なまずの郷多目的グラウンド

福岡の観光地を満喫
ふくおかよかとこパスポート
ふくおかよかとこパスポートの使用で、県内の宿や飲食店、観光施設でお得な特典を受けられます。またスタンプを集めると、福岡の特産品が当たります。詳細は「ココシル福岡」で検索してください。
問い合わせ 県観光パスポート事務局 ☎092・451・0606 FAX 092・451・0550
定員 80組
費用 一組400円
受付期限 10月30日(日)
受付、問い合わせ 市グラウンドゴルフ協会 高山さん ☎FAX 52・3595

世界遺産への道

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

広報
ふつ
2016
10

No.
141

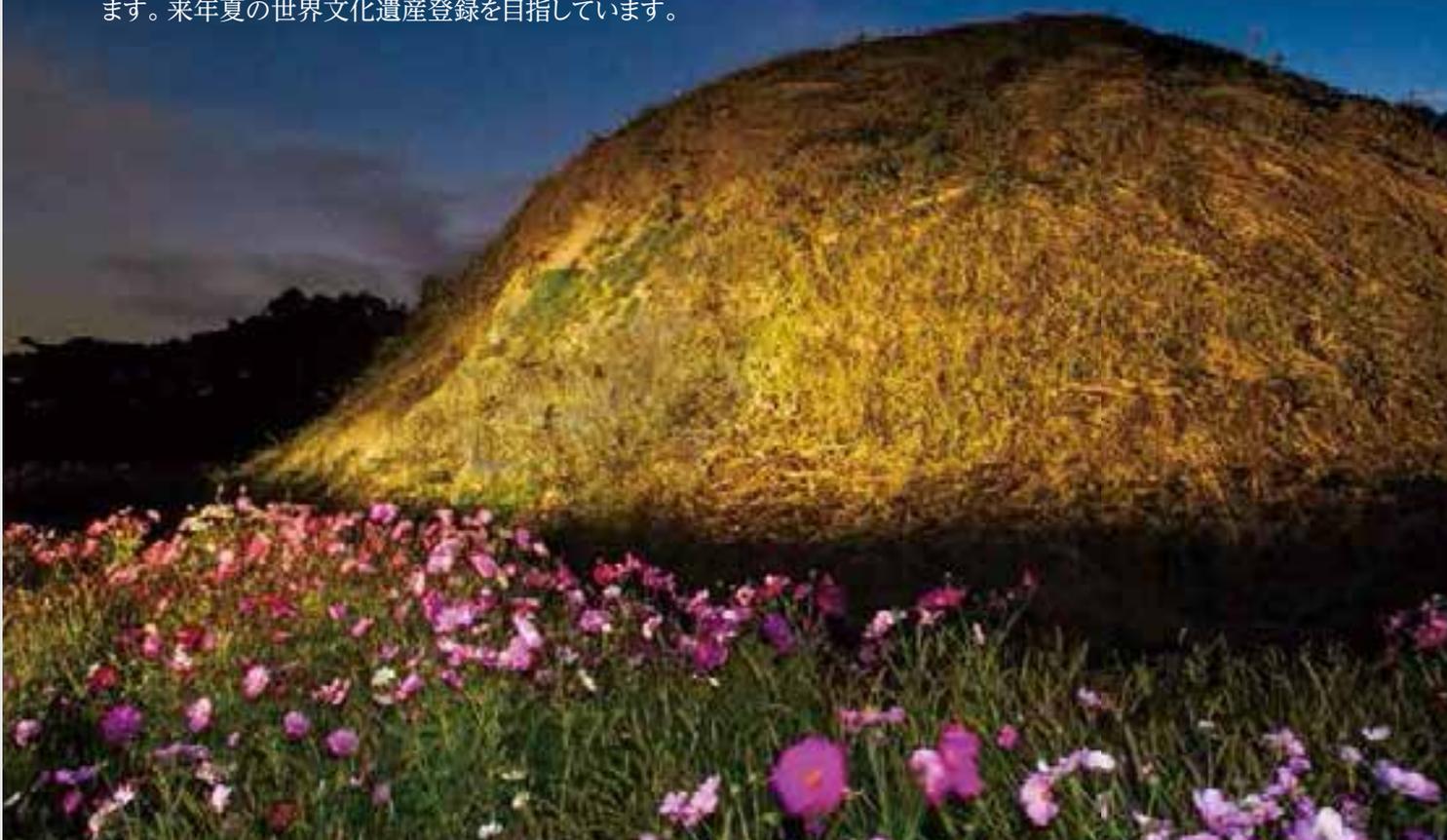
発行
福津市

編集
広報秘書課 〒811-3293 福岡県福津市中央1-1-1

印刷
久野印刷株式会社

新原・奴山古墳群

市の北部の勝浦地域にある新原・奴山古墳群は宗像市の沖ノ島や宗像大社と共に「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産に含まれています。来年夏の世界文化遺産登録を目指しています。



今月から、このコーナーでは地域の誇りである新原・奴山古墳群を含む「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」を紹介します。

新原・奴山古墳群を世界遺産に！

届け私の思い

観光ボランティアガイドに話を聞きました。

遺産を未来に引き継ごう



上田 哲也 さん

私たちの先輩たちの努力によって現代まで残された古墳。私たちは未来に伝える必要があると思います。そのことによって子どもたちが、自分たちがこんな歴史のある場所に住んでいるという誇りにつながると 생각합니다。

古墳周りの風景を守ろう



末廣 公香 さん

古墳群の周りは水田になっただけで、とても美しい風景だと思います。1500年から1600年もの長い年月受け継がれてきたこの田園風景が、これから先もずっと末代まで受け継がれていって欲しいものです。

石室が見たいですね



竹本 武利 さん

ガイドをしているとお客様から、「古墳の内部を見たい」という声をよく耳にします。新原・奴山古墳群は石室を見学できる整備ができていないので、今後石室内部を見学できる整備ができればいいですね。